

# 『ビットコインを支えるブロックチェーンとは?』

文 小田 玄紀 text by Genki Oda

ブロックチェーンは、銀行のように中央サーバのセキュリティを高めるのではなく、顧客の台帳をネットワークに繋がっている不特定多数のコンピュータに分散させ、共有する、という方法をとっています。

そのことからブロックチェーンは、「分散型台帳技術」といわれています。

イメージとしては、誰が、いつ、どんな取引をしたか、誰がいくらビットコインを持っているかなどが記録された通帳を、何百万人という人が保有している状態になります（保有者は匿名なので、誰が保有しているかはわかりません）。

Aさんが自分のデータを改ざんしたとしても、その他の人の通帳と照合すると、その通帳が改ざんされたことはすぐにわかってしまいます。そのため、不正をするには、ネットワークにつながっているすべてのコンピュータの情報に改ざんする必要があります。

それは極めて難しく、不正をするのは現実的ではありません。

つまり、銀行が情報を中央サーバに集め、莫大なセキュリティ費用をかけて守っているのに対し、ブロックチェーンでは何百万というユーザーを存在さ



Profile

株式会社ビットポイントジャパン代表取締役社長  
1980年生。東京大学法学部卒業。大学在籍時に起業し、後に事業を売却した資金を元にマッキンゼー出身者らと共に投資活動を始め。  
「頑張る人が報われる」をコンセプトにして起業家や社会起業家の事業立ち上げ・経営支援を行う。株式、FX、債券などの投資にも精通し、仮想通貨取引にも携わる。2016年3月に上場会社子会社として初の仮想通貨取引所であるBitpointを立上げ、同社代表取締役役に就任する。

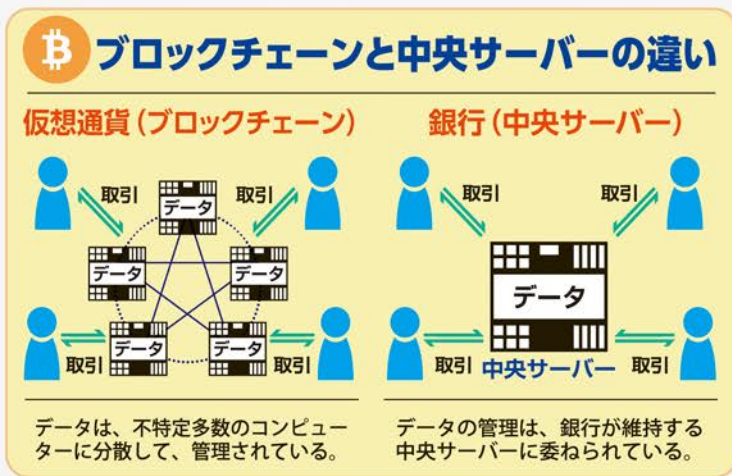
せることで、ほとんどコストをかけず、現実的に不正ができなくなるようにしているのです。

銀行などがセキュリティにかけているコストは、預金の金利やATMの利用料、振込手数料などにも当然、影響します。

それに対してビットコインでは、セキュリティに大きなコストがかからない分、送金手数料や決済手数料を安くすることができます。

ブロックチェーンは誰もが認める技術であり、実際に三菱東京UFJ銀行は、ブロックチェーンの技術を活用してMUFJコインを発行する構想を発表していますし、みずほ銀行も、数日かかっていた海外送金をブロックチェーンによって数秒に短縮する取り組みに動いています。

仮想通貨に使われるブロックチェーン技術が、世界の金融の在り方を変えようとしている、というわけです。



「1時間でわかるビットコイン入門  
1円から送る・使う・投資する」  
株式会社インプレスより